

ちょっとひと言!! 市民の声



広報委員が市民の皆さんに、行方市の皆さんに思いをインタビューしました。

感ります。

いつまでも元気で、家族や地域の人達に迷惑をかけないようになります。

私がいます。孫がいます。今年、4年生から対象になる無

き、

科学習塾が開始するという話を聞

き、

とつても喜んでいます。一人です。

確かに4年生になると、とつ

ても難しくなると思います。

勤めている母親に代わって勉強を

教えてあげようと思つても無理

です。

塾に携わる先生方に感謝申し

上げます。

(50代・女性)

●「議会だより」を細部まで読み込んでいる方がどの位いらっしゃるのでしょうか。

もちろん、市政の今後を真剣に考え、議論を交えてることは分かつています。

ただ、日々の生活に追われ、市政のことは議員の方々に「お任せ」してしまっている現状があります。傍聴に行く勇気もありません。細かい字を読むことも億劫になります。

市民が市政にもつと関心を持ち、正しく認識していくため情報提供は大切です。

議会の情報が耳から入つて来るような工夫、例えば、防災無線等を使って、議会の要点だけでも放送されれば、関心は増すのではな

いでしょうか。議会からの「発信」が、市民の心に「着信」できれば、「返信」につながり、偏りのない市政の実現に近づくように思います。

(60代・男性)

●今年は行方市誕生から10周年。旧3町の意識は残っているようですが、仕方ない事。歳月を経れば自然と解け合うと信じます。武湖に囲まれた肥沃なこの行方の地も、ジリ貧からぬけ出せないでいる。

国は地方創生にあたり、やる気のある所、アイデアを出してきた所に重点配分する方針だ。

行政・議会が知恵を絞るのは素よりも、私達市民も危機意識を持つて、真剣に明日の行方を考えなくてはいけないだろう。自分や子供達の未来のために。

(50代・女性)



議員の任期が平成27年4月23日で満了したため、行方市議会広報委員会の委員の選任の都合上、誠に勝手ながら今号の編集後記はお休みさせていただきました。

そこで、行方市は日本一という施策を3つぐらい目玉事業とし、全国発信してはどうでしょう。

人口の衰退は私達が不幸になり、増加はすべての発展につながると思

います。

(70代・男性)

次号からまた再開しますのでご了承ください。

*読みやすい

議会だよりを日指し、今号から一般質問ページを、1議員につき半ページ」に要約して掲載しています。



任期中の広報委員